

区 分		☐ 計画書 ☐ 変更計画書 ☒ 実施状況報告書							
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		熊本県八代市岡町谷川135							
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		櫻井精技株式会社 代表取締役 櫻井 一郎							
事 業 概 要		生産用機械器具製造業							
該当する事業者要件		☒ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)					前年度の原油換算エネルギー使用量		1319 kl
		☐ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)					県内登録の自動車数		6 台
		☐ 特定事業者以外の事業者							
計 画 期 間		令和2 年度 ～ 令和6 年度							
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		令和6年度温室効果ガス排出量を平成30年比13.6%削減する							
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		エネルギー管理統括者・管理企画推進者・管理員中心に推進する							
		環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	全社	取得年月日	2023/8/22		
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		【設備更新等】 会議室等の照明を蛍光灯からLEDに更新、クールクリーンファンの導入 その他エアコン・コンプレッサの更新 遮熱塗装 【その他の措置】 空調機の冷暖房設定温度(夏季 冷房27℃ 冬季 暖房22℃)の継続的な実施。							
温 室 効 果 ガ ス 算 定 排 出 量 等	年 度 区 分	排出の状況及び目標			排出量等の実績				
		基準年度 (30)年度	前年度 (5)年度	目標年度 (6)年度	(1)年度	(2)年度	(3)年度	(4)年度	(5)年度
	①排出量	2,939	2,154	2,539	2,924	3,017	2,696	2,404	2,154
	燃料及び熱	19	15	15	18	18	20	18	15
	電気	2,920	2,139	2,523	2,907	2,999	2,675	2,386	2,139
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 13.6 %	△ 0.5 %	2.6 %	△ 8.3 %	△ 18.2 %	△ 26.7 %
	②補完的手段による削減量								
	森林整備等								
	再生可能エネルギー								
	グリーン電力証書等								
	その他知事が認めるもの								
	①－② 差引後排出量	2,939	2,154	2,539	2,924	3,017	2,696	2,404	2,154
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 13.6 %	△ 0.5 %	2.6 %	△ 8.3 %	△ 18.2 %	△ 26.7 %
原 単 位 算 定 排 出 量 等	排 出 量	0.08	0.05	0.06					
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 23.9 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
	差引後排出量	0.08	0.05	0.06					
	削減率・増減率 (基準年度比)			△ 23.9 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %	△ 100.0 %
	原単位の考え方	床面積 m ² あたりの排出量							

各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等	1年目 (1)年度	【設備更新等】 省エネ型の空調機に更新⇒第2機械工場(空調機9台更新)・第4組立工場(空調機8台更新)・第5組立工場(空調機9台更新)・第6組立工場(空調機8台更新) 【その他の措置】 既存の水銀ランプから省エネ型のLEDに更新⇒第5組立工場(LED40灯)・第6組立工場(LED43灯)・第1機械工場(LED12灯) 【計画の進捗状況等】 新工場の新設により、工場出荷額が増加するなど工場稼働率の上昇により、削減率が計画比で2.7%も上がり、基準年度をオーバーしてしまった。
	2年目 (2)年度	【設備更新等】 最新鋭の省エネ型の工作機械に更新(2億3千万円)⇒第1機械工場(マシニングセンタ3台更新)・第3機械工場(研削盤2台、マシニングセンタ1台更新) 【その他の措置】 既存の水銀ランプから省エネ型のLEDに更新⇒(第2機械工場(LED109灯)・第1物流倉庫(LED178灯)・第1製缶工場(LED28灯) 【計画の進捗状況等】 エネ型の機械やLED照明への転換で、削減率が計画比▲8.8%まで改善できた。
	3年目 (3)年度	【設備更新等】 最新鋭の省エネ型のコンプレッサに更新⇒クリーンルーム(コンプレッサ1台更新) 省エネ型の空調機に更新⇒クリーンルーム(空調機5台更新) 【その他の措置】 既存の水銀ランプから省エネ型のLEDに更新⇒第7組立工場(LED652灯)・第8組立工場(LED652灯) 【計画の進捗状況等】 省エネ型のコンプレッサ、空調機や大量のLED照明への転換で、削減率が計画比▲18.7%まで改善できた。
	4年目 (4)年度	【設備更新等】 省エネ型の空調機に更新⇒会議室(6ヶ所)(空調機15台) 【その他の措置】 再生可能エネルギー(太陽光等)の導入の検討開始 【計画の進捗状況等】 工場がこの2年～3年で5棟の新築が続き、エネルギーの需要は拡大しているが、省エネ型の空調機やLED照明への転換を図りながら、更に再生可能エネルギーの導入等を検討していく。
	5年目 (5)年度	【設備更新等】 省エネ型コンプレッサに更新 第5組立工場 【その他の措置】 九州電力再エネECOプラス契約締結 2024年6月～受電 月毎10万kWh 【計画の進捗状況等】 LED化及び省エネ設備の導入は順次すすめております 受注の落ち込みにより使用量減でしたが、回復傾向にあり全体使用量は増傾向
特記事項		

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。

3 「基準年度」とは、原則、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づく地球温暖化対策推進計画の基準年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。「前年度」とは、計画期間の前年度とします。また、「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。

4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とし、その単位はt-CO₂とします。

5 事業活動温暖化対策計画書を提出する場合は、「排出量等の実績」欄及び「各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等」欄は記入不要です。

6 原単位による目標を設定する場合は、「原単位算定排出量等」欄に記入してください。

「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。

7 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。